

こんにちは 家畜保健衛生所です

家保便り 令和2年12月15日

宮崎県で高病原性鳥インフルエンザの 疑似患畜を確認（国内26例目）

◆ 発生農場：宮崎県日向市 肉用鶏農場 飼養羽数：約4.6万羽

発生農場からの家きん出荷先（食鳥処理場）所在地：宮崎県川南町
肉用鶏約2万羽が未処理係留中

14日、死亡羽数が増加しているとの通報があり、インフルエンザ簡易検査を行い、陽性を確認。同日遺伝子検査の結果H5亜型であり、疑似患畜であることが決定。

鳥インフルエンザを疑う症状があれば すぐに連絡を！

- 同一の家きん舎内において、1日の家きんの死亡率が最近の21日間の平均死亡率の2倍以上となった場合
- 5羽以上の家きんがまとまって死亡している場合
- 複数の鶏の「とさか」などが青っぽくなり、元気がなく、産卵率が低下

農場出入口での消毒の徹底、家きん舎ごと専用の靴の設置および使用、野生動物の農場への侵入防止（ネット等の設置・点検および修繕）、家きんの飲み水の適切な消毒等、飼養衛生管理基準の遵守を徹底し、より慎重な健康観察をお願いします。

家畜保健衛生所業務第一課
0743-59-1700
家畜保健衛生所業務第二課
0745-62-2440

※つながらなければ、県庁守衛室（0742-22-1001）をお願いします